

第2期中期目標期間業務実績報告書 業務実績の概要

評価の視点	番号と評価事項 【計27項目】 ※（ ）の番号は、中期計画及び年度計画の番号
① 顕著な取組・成果 【顕著】 9項目	(7) 第2次食育・健康ビジョン（H23～H29年度）に基づくこれまでの取組が評価され、第1回食育活動表彰で農林水産大臣賞を受賞 (13) 管理栄養士国家試験合格率100%が6年間で3回、平均合格率91.7%と目標の90%を達成 (15)、(44) この6年間で就職率が年々増加した結果、平成29年度卒業生の就職率98.3%は男女共学化以降最高となり、国公立大学の全国及び九州地区の平均をいずれも上回る (26) 科研費応募率が5年連続で100%を達成 (33) 地域の諸課題を題材とした教育研究への取組が文部科学省のCOC事業（H26年度）及びCOC+事業（H27年度）に採択 (39) 熊本地震を契機としたボランティアステーションの設置によりボランティアを行う学生の支援体制を整備 (40) 熊本地震被災学生に対する授業料減免による学業継続支援の実施 (55) 科研費等の採択に向けた取組等により外部研究資金は、この6年間で採択件数が59件から106件と1.8倍に増加 (62) 熊本地震の際の避難者受入れ
② 独自の取組 〈独自〉 4項目	(3) 全学共通科目「もやいすと育成プログラム」の開設と震災復興をテーマとした内容への組替え (5) フィールドワーク、学生GP制度等による地域の諸課題を題材とした専門教育の充実 (6) 全学共通科目「Intensive English」による英語使用環境の充実 (25)、(28)、(29) 各研究科における分野間連携研究の推進と成果報告の実施
③ 着実な取組・成果 「着実」 9項目	(1) 学部入試における志願倍率が6年間で平均4.8倍を確保し、国公立大学の平均4.4倍を上回る (18) 環境共生学部及び総合管理学部における災害等学際的課題や新カリキュラムへの対応に向けた教育体制の見直し (22) 英語能力の目標設定と客観的評価の導入及び英語英米文学科における英語能力試験4年間の向上率12.5%が学科目標である10%以上を達成 (29) 外部資金の申請・採択の増加をとおした研究水準の確保 (33) 包括協定に係る取組やCOC事業及びCOC+事業を推進する体制の整備 (34) 「地域貢献研究事業」や「地域志向教育研究事業」等による地域産

	<p>業の振興に資する研究活動の推進と成果の公表</p> <p>(35) 各種公開講座、授業公開講座、CPDプログラムの継続的な開講と熊本地震を契機とした震災関連講座の新設</p> <p>(36) 海外の5大学等との新たな学術交流協定締結、基金を活用した海外への留学支援制度の創設</p> <p>(57) 環境負荷軽減への取組の結果、この6年間で電力使用量を▲22.1%減少させ、経費を削減</p>
<p>④ 報道等から注目された取組</p> <p>【注目】 1項目</p>	<p>(37) 外交・国際関係の第一人者によるシンポジウムを4年連続で熊本において開催</p>
<p>⑤ 達成が不十分な取組</p> <p>《課題》 4項目</p>	<p>(2) 大学院入試における志願者数の確保</p> <p>(10) アドミニストレーション研究科博士後期課程におけるコースワークの設置（認証評価結果での努力課題）</p> <p>(23) 文学部4年次、環境共生学部及び総合管理学部におけるキャップ制の導入（認証評価結果での努力課題）</p> <p>(36) 外国人留学生の受入促進への取組</p>